

今回は「社会人の教科書」という本からです

何はともあれ貯蓄せよ

私の父親は、あれこれ言わない人でした。小学生までは、躰の範囲内で小言を言われることもありましたが、中学になってからは、ピタッと止んだのです。私が中学生になったら言うのをやめよう決めていたようで、どのような場面でも「頑張れ」と微笑んでいるような父親でした。そんな父から、社会人になるときにこんなことを言われました「1 つだけお前にアドバイスしたいことがある。貯蓄しろ」若い頃の自分を後悔しているからだと言います。貯蓄しなかったことで、得られるはずだった何かを逃してしまったのでしょう。まだ、若かった私は父の思いを汲み取ることができませんでした。父のくれた唯一のアドバイスを実行に移すことができなかつたのです。親子二代にわたる後悔を経て、今は私が言えるのは、やはり**貯蓄してください**ということです。若いうちは貯蓄なんかしなくてもいい。どんどん遊べ。若い自分に投資することが人間的な成長を促進する。昔からよく言われますが、一面では正しいと思います。でも、やはり貯蓄する事をおすすめしたいのです。ある程度金額がまとまると、貯蓄を資産と認識するようになります。30 万円、50 万円。その金額は人それぞれです。そこで引き続き貯蓄するのか、株を買うのか自動車を手に入れるのかなどと考える。資産をどう活用するのかという観点が生まれてくるのです。学生時代までは、おそらく消費することしか考えていなかったと思います。貯蓄をすることで、投資という発想をもつようになるのです。投資をするためには、投資対象の商品内容を知らなければなりません。投資収益率も考えるようになるでしょう、貯蓄をすることが、お金のリテラシーを身につけることにつながるのです。**目の前に自由に使えるお金が 30 万円あったら、人間の行動は変わります。**旅行に行くのもいいでしょう。芝居を見に行ったり、コンサートを聴きに行ったり、本を大人買いするのもいいと思います。コンディショニングや勉強のためにお金を使うのも一つの方法です。普段なかなかできないことに投資し、自分のパフォーマンスを最大化する下地を作ることにそのお金を投じることも可能です。社会人になったからには、企業の資産循環に関する勉強をすべきだと言いました。それと同時に、個人のお金にまつわる勉強もしてほしいのです。株や債券などへの投資、住宅ローンなど、基本的なお金の仕組みを一通り知っておくことは大切なことです。複利の考え方を知っているか知らないかでは、大きな差がついてしまいます。怪しい投資商品を買わされたり、騙されてお金を巻き上げられないためにも・・・お金については、まず**身近にいる先生をつかまえて相談してみてください。**多くの上司や先輩は、生命保険料や住宅ローンを支払っています。株に投資している先輩もどこかにいるはずですよ。アドバイスを受けて勉強したら、実際にトライしてみたいはいかがでしょうか。高額である必要はありません。小口でも投資はできます。貯蓄をして原資を作り、投資をするためにお金の勉強をする。そのプロセスの中でお金に詳しくなっていくでしょう。投資のリターンを得られる保証はできませんが、**勉強することで、自分へのリターンは確実に返ってきます。**

筆者は、父親にどんなアドバイスをもらいましたか？

()

目の前にある自由な 30 万円、50 万円があれば人間は何が変わりますか？

()

個人のお金の勉強をするためにどうすればいいと言っていますか？

()